



ごうし栄一

県議会だより No.16



しあわせの
和を
繋ぎたい

ごうし栄一 事務所 山口市赤妻町3丁目3番20号信和ビル2F
TEL (083)921-5455 FAX (083)921-5411

山口から日本をよくする

暑中お見舞い申し上げます。 山口県議会議員 合志栄一

山口県政は、四期十六年間続いた二井県政が今年の八月で終わり、新しい知事に引き継がれます。二井県政への評価は、色々あると思います。私は、公正な県政運営、鳥インフルエンザ発生等困難な問題が起こった時のリーダーシップ、さらば博・国民文化祭・国体等の大規模行事を成功に導いた手腕などからして、「よくやっていただいた、立派な知事であった。」と評価していいと思っています。二井知事は、「正直を貫く無心の心で判断する。歴史に学ぶ。」の三つを心掛けて県政運営に当たってきたと述懐していますが、こうした姿勢は、次期知事にも引き継がれていくべきことでしょう。

私は、新しい知事のもとにおいても、「山口から日本をよくする。」の志をもって、県政の諸課題に県議としてしっかり取り組んでまいります。それでは、以下今年の二月および六月の定例県議会での取り組みを報告いたします。

2月議会報告

山口から復興支援を!

思いを込めて被災地訪問

二月二十八日に召集されました二月定例県議会は、総額六九五二億円の平成二十四年度当初予算案をはじめとする七十議案を可決して三月十六日閉会いたしました。私は、三月六日に一般質問に立ち、「東日本大震災復興支援について」ということで、①災害廃棄物の広域処理受け入れ、②人的支援の二項目について県の取り組みを問い質しました。

この質問を行うに当たって、私は二月中旬に環境省・宮城県庁・南三陸町役場等を訪ね、国の考えや被災地の実情の把握に努めました。そして、被災地が復興に向けて現在最も求めていることは、災害方レキ処理への協力と人的支援であることがわかりました。本県は、



議長

昨年「東日本大震災復興支援」と冠詞して国体を開催したこともあり復興支援に向けて、安全上問題のないガレキの受け入れや人的支援に全国に先駆けて取り組むべきとの思いで、この質問を行いました。災害廃棄物の広域処理受け入れ

については、二井知事から「国を挙げて協力していくことが基本である。」との認識が示され、「国の安全基準を住民の安心に結び付けていかなければならない。そのため、国から来ていただいて関係市町に対し説明会を開催したい。」旨の答弁があり、三月二十六日にその説明会が開催されました。人的支援については、平尾総務部長から「来年度は福島県に十名、岩手県に四名、宮城県に二名の合計十六名の職員を、一年間支援のために派遣する。」旨の答弁がありました。

6月議会報告

地域活性化に全力を!

中心商店街活性化! 地方分権の推進!

コンパクトなまちづくり

六月議会では、総額二十五億五千万円の補正予算案や公安委員長任命の人事案等三十八議案が可決成立いたしました。

二井知事最後の議会ということ、二井知事の功績をたたえる発言が相次ぐ議会となりましたが、私は、六月二十八日に登壇し、「地域活性化について」ということで①中心商店街活性化対策、②地方分権の推進の二点について一般質問をいたしました。

中心商店街活性化対策については、1、都市機能を中心市街地に集積するコンパクトなまちづくり

2、良好で魅力的な中心市街地の形成、3、街なか居住の推進等の施策を県も心掛け、取り組むべきだとの考えを述べ、所見を伺いました。これに対し、関係部長から慎重な言い回ししながらそれぞれ前向きな答弁がありました。特に、「街なか居住の推進」では、県営住宅の中心市街地への立地についても、検討する旨の答弁がありました。

地方分権の推進については、国が地域活性化の施策を県抜きで直接市町に働き掛けてやろうとする分権化の問題点を指摘し、むしろ国の財源や権限を県に移譲し、県と市町での地域の色々な課題を解決出来るようにすべきとの趣旨で質問しました。これに対し、二井知事から「私も合志議員と同様の問題意識を持っている。」旨の答弁がありました。

再質問では、中心市街地を流れる一の坂川の亀山橋から千歳橋間の河川再生事業が今年度完成し、特に山口中心商店街に沿って左岸道路が整備されることへのお礼を申し上げます。そして、引き続き千歳橋からえびす橋までの間、道場門前商店街に沿う一の坂川の左岸に道路を整備することの意義を述べ、この事業に市と連携して取り組むよう要望しました。

地方の現場にあって国の政策を検証する。そういう思いで、この度は地域活性化というテーマを掲げ、中心商店街対策と地方分権のことを一般質問に取り上げました。それなりに、キチンとした政策論議を提起できたと思っていますが、ただ単に質問しただけに終わらすことなく、結果が出るよう今後とも関心を持って取り組んでまいります。

ごあいさつ

合志栄一後援会

会長 河内義重



梅雨に入り、台風四号の襲来、日本列島は境界の混乱とあいまって、

びしょ濡れ状態です。

皆様方には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、東日本大震災から早や一年四ヶ月が経ち未だ復興への道すじも不安定な状況であり、ガレキ処理問題も厳しい状況であります。震災地の皆様の心情を思う時、出来る事から早く解決していかなければなりません。再び電力不足のもと、浮上して来た大飯原発再稼働への政府決定も明らかであります。

私共は、国民の目線に立ち慎重に検討しなければなりません。そうした中、此の度の知事選挙を控え、課題の多い山口県政の行く方向をすでに、合志栄一県議にはお考えになっておられることと思います。

私共後援会は、これから立ち向かっていける県議の活躍しやすい支援活動をしなければなりません。

日頃のミニ集会をはじめ数々の会合を通して、合志栄一後援会の組織を、将来のあるべき姿を見据えながら充実を図っていかねければなりません。これからは活躍される合志県議の支援に、栄山会に対するご協力もお願いします。これから、夏に向かって暑さに負けないよう皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。

合志栄一コラム 政治責任

我が家から歩いて10分ぐらいのところに人気の居酒屋がある。店主Mさんをみんなは船長と呼ぶ。彼が多年にわたり主に舞鶴と小樽間の北海道航路大型フェリーの船長をやっていたからである。

38歳で船長職を務めるようになった時、Mさんは若くして船長になった喜びよりも、思い悩む日々がしばらく続いた。「船長は、船の運航の最終責任者である。船の事故が起こったとき責任取るのも船長だ。しかし、実際は責任とれないのではないか。大勢の客が犠牲になるような事故が起こった時、たとえ死んでお詫びしてもすまないのか。」Mさんの悩みはそういうことであった。

そして、彼はある思いに達する。「そうだ、乗組員から船長は『金玉が小さい。臆病者だ。』等々、なんといわれようと事故を起こさないために自分がやるべきことと思うことは全てやる。石橋を渡るのに一回叩いた上に、もう一回叩いて安全を確認する、そういう姿勢でやっていくことにしよう。」と。以来60歳までの22年間、Mさんは一度も事故を起こさずとなく船長としての任務を立派に全うした。

合志栄一後援会幹事新



僧侶(住職)としての正装と四日毎にする剃髪をしてまいりました。この四日毎の剃髪の意味は、四つ

の苦しみ(生きる・老いる・病む・死ぬ)と愛別(愛する人と別れる)・怨恨(怨み憎んでいる人と会う)・求不苦(求めるものが得られない)・五陰盛(あらゆる精神的苦痛)の四苦、すなわち四苦八苦(4×8×10=112)百八の煩惱を取り除く事です。



2012新年会 記念講演

『日本の心』

講師 曹洞宗 玄濟寺 藏重恵昭 住職

このように禅では、丹精に身を整える形(姿)が、物事の基本との教え故に、今日はこの姿がふさわしいと思えます。

演題にした『日本の心』はどんな心なのか。日本には、春夏秋冬があり、日本人はこの四つの季節を、それぞれに愛でております。

この「遊就館」について色々批判する人がいますが、とにかく行ってみてから批判してほしい。私は、「遊就館」に、日本の心を見たい思いをもってあります。(要約)

写真で見る

合志県議の活動

(平成24年1月~6月)



1月12日 二井知事へ 新年度予算要望書(新政クラブ)提出



2月12日 視察 東日本震災地(3回目) 南三陸町ボランティアセンター



3月25日 山口市商店街東日本震災復興支援イベント 気仙沼の秋刀魚を食べる



2月29日 視察 宇部市東見初最終処分場



3月1日 山口県立西京高等学校卒業式



4月7日 「湯田温泉白狐まつり」 神事



4月8日 県議会活動報告会



5月14日 第17回「明日の障害福祉を考える会」



5月14日 視察 防府川緊急砂防事業



5月27日 第63回全国植樹祭(阿知須)



5月30日 第14回合志栄一勉強会 演題「日本の山口」講師 岡部泰民氏



5月31日 視察 山口県若者就職支援センター



6月9日 第28回宮野ホテル祭



6月21日 日本・モンゴル外交関係樹立40周年記念行事認定説明(モンゴル観光大使前田ハングさん)

合志県議の活動メモ

- 1月6日 山口県警察年頭視閲式
- 1月6日 山口商工会議所新春互礼会
- 1月7日 山口地方教育関係者新年懇談会
- 1月8日 山口市消防出初式、山口市成人式
- 1月18日 山口の森林を考える会幹事会
- 1月26日 山口コンベンション情報交流会
- 1月30日 天皇・皇后両陛下行幸奉迎委員会
- 2月6日 第16回明日の障害者を考える会
- 2月11日 山口市建国記念奉祝大会
- 2月17日 山口市県議員と山口商工会議所会頭、副会頭懇談
- 2月28日 山口県議会2月定例会議開始
- 3月8日 合志県議一般質問
- 3月19日 黒航川上流ダム完工式
- 3月27日 山口博物館百周年記念式典
- 4月5日 宮野地区観覧会
- 4月9日 防府高校佐々並分校開校式
- 4月29日 山口県全戦没者大慰霊祭
- 4月29日 山口の森林を考える会勉強会
- 5月27日 第63回全国植樹祭(セブション)
- 6月7日 平成24年度管内県税・農林・土木事業等説明会
- 6月13日 山口県議会運営委員会
- 6月15日 良城商工振興会総会
- 6月20日 山口県議会6月定例会議開始
- 6月27日 合志県議一般質問

3・11の教訓と上関原発

山口県議会議員 合志栄一

「幸運」に恵まれた福島原発事故。田坂広志著「官邸から見た原発大震災、大津波そして福島原発事故」が国にとつて国難というべき未曾有の大災害であったが、それでも日本はついていたとの感をもつ。

の転換である。3・11の大震災が起る前までの我が国のエネルギー政策は原発拡大路線で、2003年までに、現在五十四基ある原発を、さらに十四基増設・新設し、我が国の総発電量における原子力発電の割合を、三割から五割に拡大するというものであった。このエネルギー計画が閣議決定されたのは、平成二十二年の六月のこと。それから一年も経ずして発生した福島原発事故は、このエネルギー計画を白紙に戻し根本的な見直しを迫ることになった。

思いだすことができる。このCMが大ヒットした背景には、「大きいことはいいことだ。」のフレーズが、当時の時代風潮とピッタリ一致していたことがある。確かに我が国は戦後、政治・経済のみならずあらゆる分野において「大きいことはいいことだ。」路線を邁進し、出来るだけ「大きく集めて来た。その結果が、ある意味ともいえる。そして、その構造を支えるエネルギー供給の核に原子力発電が位置づけられていた。しかし、それは本来の日本の在り方ではない。自立した地方、口

ではないだろうか。現民主党政権は、大飯原発の再稼働を断念したが、脱原発依存の方針は変えておらず2030年を目途に、総発電量における原発依存の割合を、現状の三十%から十五%へ半減する方向で、エネルギー計画の見直し案をまとめようとしている。エネルギー計画の見直しであるが、最有力の原発依存十五%案になった場合、既設の原発稼働は、原子炉寿命四十年間の範囲内で認められる。原発の新設・増設は見直し計画となる。

上関原発の稼働は、脱原発依存に向けての現実的対応としてあり得る。上関原発の建設は、上関建設に位置づけられた計画で、国のエネルギー政策が福島原発事故以前に戻ったことを意味し、断じてあってはならない。



新年のあいさつ 寺田吉雄後援会副会長



あいあいクラブバザー会



村田彦(阿東)さんの乾杯音頭で懇親会はじまる

合志栄一後援会

幹事新年会開く!

〔時〕平成 24 年 1 月 29 日 〔所〕ホテル松政

恒例の新年会。230 余名が集い、3 部構成で、合志県議と共に新年を祝った。

第 1 部は、あいあいクラブのバザー。第 2 部は、記念講演「日本の心」の題で、玄濟寺住職 蔵重恵昭氏が講話され、その話しに感銘を覚えた。第 3 部は、懇親会で、アトラクションは、「現代尺八の妙音」。後山邦秋氏の演奏は、和楽器で洋曲を演じ、その妙音に、会場は拍手に包まれた。

ロビーでは、寺田晴美画家の協力で「東北震災チャリティー展示販売」が催された。

最後に、合志夫妻と「一月一日」の唄の大合唱で、4 時間余にわたる新年会の幕を閉じた。



合志県議各テーブルを回ってパチリ



合志県議各テーブルを回ってパチリ



合志夫妻と「一月一日」の唄の大合唱

第 14 回 合志栄一勉強会 (平成 24 年 5 月 30 日・防長青年館にて)

演題『日本一の山口』ブルーウェイ(株)PDセンター 岡部泰民常務が『メイド・イン・ジャパン』を熱く語る

わが社は、デニムを素材とするアパレルメーカーで山口市を中心に県内に 6 工場を持っています。メイド・イン・ジャパンのアパレルメーカーの工場としては日本有数の規模で、開発製造現場には、外国人のいない会社です。これは、製品をメイドインジャパンと称しているからです。

10 数年前に欧州に行った。ファッションの国・フランスには、紳士服工場と縫製技術が無く、進出先のスペインに在った。フランスの紳士服産業は空洞化していた。従って、我が社は、空洞化を避けるために外国に進出しない。以後、たびたび渡欧するが、その度ごとに、日本人以上に、日本人の DNA (精神) を評価してくれる。

そして、クール(賢い)ジャパンと言ってくれる。例えば、自動販売機が設置され事故が無い国は、日本と台湾だけで、台湾は、日本が一時統治した国にもかかわらず日本を大変尊敬している。だから世界一の国は日本だど…。経済界では、グローバル化と良く言われるが、海外での製造は、その国の品質になるので我が社の工場は、外国に無い。「高品質な生活文化製品を供給する国」、そして「協調共存を図る」が我が社のポリシーです。

このポリシーの維持実現には、10 年先、次世代を考えた人材育成が必要



です。私は、デニムのファッションデザインコンテストに携ることになった。山口で開催すれば東京の十分の一の経費ですむ。十分の一の経費で、10 年間人材発掘育成、そして、世界一のコンテストと目標を定め、いずれも目標を達成したのでコンテストを止めました。

私は、山口を日本一の素晴らしい町と思っています。例えば、近代日本の象徴である東京の形成には、明治維新を進めた山口の先輩が大きく寄与しています。日本の民主主義は、高杉晋作の奇兵隊から始まった。このように実績のある山口です。

物事を成すには、自信と誇りが必要です。その為には、特に、先の大戦の評価を日本側からばかりでなく、外国の評価も知り、自分が判断し、自分の物差しで結論付ける事が真の自信と誇りになると思う。

日本一の山口をより良くするには、山口は、誰のものか、我々の財産であるとの自覚が必要です。この財産を守り、育てていくのは、我々一人一人である。良かれと思う事は、先ず実行してみることです。理想のまちづくりには、終わりがなく、その時代、時代で行動し、次の世代に引き継がなければなりません。日本一(長州)の DNA を後輩に教えることです。(要約)

事務所メモ&予定

- 1 月 10 日 議会だより「創」15 号発行
- 1 月 29 日 合志栄一幹事新年会(あいあいクラブバザー・記念講演・懇親会・チャリティー絵画販売)
- 2 月 12 日 合志県議東北震災地視察 4 日間(3 回目)
- 3 月 8 日 合志県議一般質問
- 3 月 23 日 合志後援会事務局懇談会
- 3 月 29 日 あいあいクラブ事務局懇談会
- 4 月 8 日 合志栄一県議会報告及び地区世話人会
- 4 月 11 日 合志栄一阿東地区後援会発足
- 5 月 18 日 あいあいクラブ役員会
- 5 月 30 日 第 15 回合志栄一勉強会
- 6 月 28 日 合志県議一般質問
- 7 月 17 日 県議会だより「創」第 16 号発行。栄山会のご案内
- 7 月 21 日 出雲光一デビュー 20 周年記念ディナーショー
- 7 月 29 日 山口県知事選挙投票日
- 10 月 28 日 第 4 回よつば会ゴルフ大会

石巻牡鹿半島「牡蠣」大好評

5 月 25 日 牡鹿半島牡蠣の配達開始



6 月 8 日 狐崎浜へ漁網を贈る



3 月末に、山口市内にて東日本大震災復興支援イベントがあり、事務局の「みき」さんが参加し、石巻市狐崎浜で漁師の菅野グループさん達と縁が出来、5 月に事務局酒井が、石巻市で菅野グループの方々とお会いした事で、縁がより深くなった。

事務局で何か手伝いとなり、牡蠣の販売・漁網の世話・ホームページ指導等々、合志県議の手もかりて頑張っています。次回の美味しい「牡蠣」販売にはお願いします。(T.S)

栄山会のご案内

合志栄一氏の政治活動を資金的に支えるために資金管理団体「栄山会」があります。この栄山会にご支援いただいた資金は、幅広い支援活動をする合志後援会の活動経費に充当されます。諸事多端の折から恐縮ですが、「栄山会」の趣旨にご理解を賜わり、ご継続・ご入会いただきますようお願い申し上げます。

- 【組織の名称】 栄山会 代表者 合志栄一
- 【会費受付】 一口 年額 2,000 円(複数口数可) ※納付者は個人に限ります
- 【会費振込先】 郵便振替番号 01380-7-41 加入者名 栄山会
- ・山口銀行 山口支店(普) 6141625 栄山会代表 合志栄一

